

平成25年12月26日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学
ヤンマー株式会社

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学とヤンマー株式会社による 課題創出連携研究事業について

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（所在地：奈良県生駒市 学長：小笠原直毅、以下奈良先端大）とヤンマー株式会社（本社：大阪市 社長：山岡健人、以下ヤンマー）は、このたび課題創出連携研究事業に取り組むこととなりました。

本事業では、奈良先端大とヤンマーが協力し、将来の社会における重要な課題の発掘から、個々の課題解決に向けた研究活動まで、継続的に異分野融合型の取り組みを行います。ヤンマーの現在の事業領域にとらわれず、幅広い分野を視野に入れます。これにより、新しい価値や新ビジネスを開拓し、次世代を見据えたイノベーションの創出を図ります。

1. 研究事業の体制について

- ①奈良先端大の中に共同研究室を設置
- ②研究室人員：奈良先端大 教授7名、研究員1名、事務員1名
ヤンマー 4名（うち1名奈良先端大へ派遣）
- ③研究室名：YANMAR Innovation Lab. 2112
（名称由来：ヤンマーは、2012年に100周年を迎えたことから、本研究室で、次の100周年を支える新しい価値の提供、イノベーションの創出を図る）
- ④所在地：奈良県生駒市高山町8916-5（奈良先端大内）
- ⑤研究開始（研究室設立）：2013年11月1日
- ⑥当面の研究期間と費用：3年間で約1億円

2. 狙い

- 共同研究室において、特に注力する活動内容
- ・次世代に貢献できるインパクトのあるイノベーションの創出
 - ・産学のシナジー効果を活用できる研究活動

3. 活動内容について

- ①定期的なイノベーション創出ディスカッションによる、将来の社会における重要な課題の発掘と技術シーズ探索
- ②個々の課題解決に向けた異分野融合型の研究活動

4. 事前活動内容と今後の予定

奈良先端大独自のヒューマノフィリック※の技術と、ヤンマーのコアコンピタンスを利用できるテーマなど、数件に絞り込みました。今後、ヤンマーの事業領域にとらわれず調査研究を行い、2014年4月以降本格的な研究開発に取り組む予定です。

※) ヒューマノフィリック：人 (human) と“友好”を意味する接尾語 philic を組み合わせた造語で、人と親和性の高い、人に優しい技術という意味。

【本件に関する問い合わせ先】

奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 広報渉外係 瀬戸 克昭 (せと かつあき)

TEL : 0743-72-5026 FAX : 0743-72-5011 E-mail : s-kikaku@ad.naist.jp